

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年3月10日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675200127
法人名	株式会社 J O Y
事業所名	「いこいの里」花いちもんめ
所在地	鹿児島県姶良市加治木町木田4888-4 (電話) 0995-62-2983
自己評価作成日	平成27年1月29日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年2月22日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- 一、日々の生活の中で明るくいつも美しくを目標にしていること。  
身支度を整え、各居室や共有スペースを清潔に保つよう心がけている。
- 二、朝日(日の出)を眺め、日本の滝百選にも選ばれた龍門滝を眺めながら景色を楽しめる環境にある。
- 三、職員が散歩などに同行して外出の機会づくりをしている。
- 四、同グループ等の行事への参加を行い、地域・他者との交流機会が多い。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・同開設運営者が特別養護老人ホームや老人保健施設・幼稚園・有料老人ホーム・医療機関等を含んだ医療総合福祉施設が広い敷地内に隣接している。
- ・当事業所は家庭的でゆったりとした1ユニットのグループホームである。協力医療機関が隣接されており24時間医療連携体制が整っている。2階から4階が職員寮となっていることもあり、災害など緊急時の協力体制もできている。
- ・民家を改造されて造られた居室は広く、窓も大きく床の間や障子・襖・調度品もあり、庭も広く眺めもよい。家庭的で落ち着いた雰囲気がある。
- ・重度化が進み介護度が高くなっているが、管理者を含め3名の看護師が勤務し、医療面での安心感を与えている。
- ・近隣からの利用者がほとんどであり、地域行事への参加や系列法人の行事などで地域住民との交流も盛んである。
- ・職員は介護経験者が多く、職員間のコミュニケーションも良好で離職者も少ない。利用者との馴染みの関係が築かれており、家庭的な環境である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>GHの在り方、当事業所の理念を念頭に、地域住民の協力を頂きながら生きがいのある生活を提供している。</p>	<p>会社理念を基に地域密着型サービスの意義を踏まえたホームの理念があり、玄関やホール・廊下に掲示し、朝のミーティングでの唱和、職員会議等でケアの振り返りを行い、常に理念に沿った支援を心がけている。パンフレットや系列医療法人のホームページに掲載し、地域に発信している。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>苑外散歩やボランティア受入れを通じて、近隣住民との挨拶、会話をされる関係が来ている。</p>	<p>自治会に加入し回覧板等で情報の収集や発信を行っている。散歩や買い物時の挨拶、同系列医療法人行事の花見や夏祭り・敬老会・文化祭等で地域の人との交流を行っている。学生の研修やボランティアの受け入れ・地域行事への参加等、地域との交流を行っている。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>民生委員および地域の方々との連携を取りながら、独居の方やご家族様から認知症についての相談を頂き、サポーターとして地域と交流している。</p>	/	/

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>協議・報告議案に対して、出席者からの意見をいただき、改善策を話し合っている。また、作成した議事録を職員全員で共有し、サービスの向上に取り組んでいる。</p>	<p>会議は定期的開催し、入居者の状況やヒヤリハット・事故報告など、事業所からの報告を行い、参加者からもおむつ使用量や情報の伝達方法など具体的な意見や要望が出され、出された意見や要望は議事録にて周知しサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議を通じて事業所の実情を伝えており、日頃より連携を図り協力関係を築くように努めている。また、生活保護受給者もおり、担当者との連携も図っている。</p>	<p>行政の担当窓口へ出向き、広報誌を持参したり、書類関係や報告・相談等で日頃より協力関係を築いている。保護課との連携も図っている。行政からの情報はFAXやメールで行われ、行政主催の研修会へも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>日々の目標の中に「身体拘束廃止」を提示している。また、身体拘束マニュアルを作成し全員で共有している。</p>	<p>指針やマニュアルがあり、法人研修会や外部研修・内部研修・職員ミーティング等で振り返り、日中の玄関の施錠を含め、職員の連携で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。身体拘束廃止委員会があり言葉での拘束も含め、身体拘束ゼロを実践している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に開催している勉強会を通じて職員の意識の向上と情報の共有に取り組み、高齢者虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	資料研修や関連事業所との勉強会に参加し成年後見制度について学ぶ機会を持っている。現在、後見人制度を利用される利用者も入所されており、後見人である司法書士や社会福祉士のアドバイスを受けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居前に読み合わせを行い、ご家族の理解、承諾をを頂いている。また、運営推進会議等では行政を交えて意見交換をしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営上必要な事は早めにご家族様に発信して理解を頂いている。苦情相談窓口も設置している。また面会時にご家族様へ何か要望がないか確認している。	入居時のアセスメントを参考に、利用者からは日常会話や表情・しぐさから組み取るよう心がけている。家族からは面会時や家族会・運営推進会議等で意見や要望を聞いている。外部に意見を表せることも入居時に説明している。年1回、アンケート調査を実施し、出された意見や要望は会議等で話し合い、ケアに反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月定例の勉強会およびスタッフの意見交換を行い、スタッフが気軽に意見を出し合えるようにすることで、円滑な業務運営に取り組んでいる。</p>	<p>朝のミーティングや毎月の職員会議で意見や要望を聞く機会を作っている。法人本部による年1回の個人面談や家庭的な相談は管理者がその都度相談を受け、日頃からコミュニケーションを図るよう心がけている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>現場管理者は職員の意見を聞き勤務状況を把握して本部に報告、連絡を取りながら現場の環境作りを行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の研修が高いケアにつながる事を理解し、内・外部研修への参加を実施し情報・知識を共有出来るように努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会への加入によって、情報の収集や研修会の参加を実施し情報の交換に活用している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	個人を尊重したうえでご家族とも多くの情報交換を図っている。また、個別性を重視する為、本人の不安、悩み等を傾聴し、信頼関係の構築に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時、電話等で常にコミュニケーションを取らせて頂き、ご家族の悩みや不安を聞くことが出来るように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用前に何度か面談を行い本人様やご家族様と話す機会を設け、関係作りに努めたうえで、ご家族様、利用者様のニーズに合わせたケア、サービスの提供に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入所前に本人・ご家族より以前の生活状況を聞き取り日頃の生活習慣を把握し、コミュニケーションを取りながら、家庭的な雰囲気の中で安心して過ごせるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族様へは、日々の状況や写真を新聞にして作成し、ご家族様や行政へ配布している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの場所や近隣での花見会、また事業所関連の夏祭り、合同文化祭などに参加して、多くの知人、友人との交流が図れるように支援している。</p>	<p>地域の利用者がほとんどで家族の面会が多い。法人行事の夏祭りや文化祭には地域住民の参加があり、知人・友人との交流が図られている。重度化して遠出等の外出は難しい状況であるが電話の取次ぎなど関係継続の支援に努めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者様の生活歴、趣味等を把握して、職員が間に入り自発的な交流を持てるように配慮して良好な関係が保たれるようにしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所後は、本人様の状態等を面会を通じて把握し、ご家族にも連絡をとり経過をフォローしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人とコミュニケーションを図りながら思いを聞き取り、本人の希望や意向に沿った支援を行っている。又、困難な場合はスタッフ間で話し合い、問題解決に努めている。	入居時に本人や家族から聞いた生活歴や情報をもとに、コミュニケーションを大切に日常会話や表情・しぐさなどから、本人の希望や意向をくみ取り、意向に沿った支援を心がけている。意思疎通が難しい利用者には時間をかけて表情やそぶり、家族や関係者の情報から職員で話し合い、本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に、これまでの生活歴、社会背景等をご家族、本人より聞き取り把握するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	精神状態、身体状態を把握した上で、一人ひとりの残存機能に合わせた生活が出来るように努めている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族と話し合いを持ち、本人、家族の思いを聞き、現状に合ったケアを実施出来るよう介護計画を作成している。</p>	<p>毎月、モニタリングを実施、担当者会議は面会時や家族の都合に合わせて計画、主治医の意見や家族の思いを踏まえ定期的な見直しと必要時には随時見直しを行い、現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別の介護記録を活用し、職員全体で利用者様の状況を把握・共有して介護計画に沿ったケアの実践、見直しを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>行事の実施や屋外への外出、また個別の要望にも出来る限り応じるなど、グループホームだからこそ出来る支援の充実に努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域には高齢者介護施設や保育園が多くあり、また、自治会の高齢者様との交流で笑顔が出る環境作りをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>主治医とは日々情報交換、報告を行い、ご家族様にも説明して健康保持に努めている。緊急時の対応についても協力病院との連携を図っている。</p>	<p>本人や家族の希望するそれぞれのかかりつけ医を支援している。日々情報交換を行い、家族にも説明して連携を密にしている。緊急時の対応も24時間医療連携体制が整っている。受診と主治医・家族との連携は看護師である管理者が主に行っている。他科受診も看護師が対応し連携が図られている。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>本人の健康状態について介護職員と看護職員が密に情報交換を行い、適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時に看護サマリーにより入院までの経過・病歴・内服薬緊急連絡等の情報を作成し情報の共有に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期に向けた事業所の方針は、入居時に説明して同意書も作成している。入居後は、身体状況に応じて主治医の判断の下、家族と方向性を話し合い、事業所で出来る最大限の支援に取り組んでいる。</p>	<p>入所時に重度化した場合の対応や延命措置についての確認を行っている。身体状況に応じて段階的に主治医を交えて、家族に説明し今後の方向を話しあい、現在できる最大の支援をしている。医療機関が隣接されており、ターミナルケアについては実施していないが、希望があれば実施する体制である。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故発生時マニュアルにより全職員へ周知を行うとともに、市消防局の救急救命研修に参加し、応急手当や初期対応の実践力向上に努めている。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>協力病院と合同で防災訓練を行うとともに、事業所独自の訓練も行っている。また、避難経路にスロープ、全居室にスプリンクラーを設置している。</p>	<p>年2回、消防署指導のもと昼夜想定で、同敷地内の協力医療機関と合同の防災訓練と事業所単独での避難訓練を行っている。災害時の備蓄は医療機関の方で大量に備蓄しているがホームでも水や米・冷凍物等が準備されている。建物の2階から4階部分が法人職員寮となっており、非常時の協力体制も整っている。避難経路に4ヶ所広いスロープやスプリンクラー・自動連絡装置が設置されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>ご利用者が分かりやすく、また、個人の人格を尊重した言葉かけおよびプライバシーへの配慮を全職員で徹底している。</p>	<p>法人全体の接遇委員会が中心となり全体研修や外部研修などで言葉使いや声かけ・プライバシーの配慮など、周知徹底している。ホームでもマニュアルに沿って定期的に勉強会を行い個人個人を尊重した言葉かけや本人が理解できるように話しかけている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>ほとんどの方が自己決定が難しい状況ですが、コミュニケーションを取ることで利用者様の気持ちに沿った自己決定が出来るように努めている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>身体状況・精神状態を把握しながら、本人の希望に添った介護支援をしている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>定期的に訪問美容室の方により髪のカットをして頂き、行事参加時には化粧等を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入所時は嗜好調査を行い、本人の意向に沿った食事提供を行っている。又、食事前には嚥下体操や音楽を流して落ち着いた雰囲気の中で食事を楽しんで頂いている。	朝・昼食は職員が作成し、夕食は業者に委託している。嗜好調査を実施し、代替えの食品や食事形態を配慮している。お節やクリスマス等の行事食や誕生日の食事・花見弁当など楽しみのある食事となっている。対面キッチンでの食事づくりや食事前の嚥下体操、音楽を流すなど雰囲気作りがされている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別の食事・水分摂取チェック表を作成し、個々の状態が分かるようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、歯磨き・うがい・義歯洗浄の実施、協力病院の歯科による定期的な受診を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄・水分チェック表を毎日記録している。また、排泄パターンを把握することで適宜トイレ誘導を行い、排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表を活用し排泄パターンの把握を行い、時間帯で紙パンツやパットの種類を検討し、声かけでのトイレ誘導を基本に支援している。全員トイレでの排泄である。排泄感覚が継続するように、職員は支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄の有無の確認を行い食事内容、水分摂取量の確認と腹部マッサージ等を行っている。又繊維性のある食材を取り入れ便秘予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	時間は設定した手順で行っているが、利用者様の体調・精神面に配慮しながら、本人に合った入浴方法を行っている。入浴出来ない場合は足浴、清拭等を実施している。	入浴は週2回、夏場は週3回午前を基本に実施している。身体能力の低下により、介助は2~3人で安全に考慮し支援している。必要に応じて足浴や清拭対応を行っている。拒否のある利用者については時間差や声かけの工夫で対応している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活リズムに合わせて、安眠や休息が出来る環境作りをしている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診時、処方内容を看護師が把握しスタッフへ情報を伝えている。内服の変更および臨時処方に対しては主治医の指示のもと確実にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>テーブル拭きや洗濯物たたみ等、ご利用者様の残存機能に応じた共同生活での役割を担っていただいている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>散歩等に出掛けることによって、気分転換を図っている。ご家族様の面会時にご家族と屋外を散策されることもある。また苑外レクも行っている。</p>	<p>日常的に天気の良い日は菜園や近くのさえずりの森遊歩道・竜門の滝・バラ園を散策し、買い物にも同行している。園外活動や地域行事や法人行事への参加等、日常的に外出の機会が持たれている。家族との協力で外出や外泊される利用者もいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理については「預かり金」という形で管理しており、購入希望時には、事前にご家族に了解をいただいたうえで使用している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>遠方のご家族様には、電話等で近況報告をしたり、直接ご本人と会話され安心されている。いつでも連絡が出来る環境作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングは全員のくつろぎの場として、広く季節ごとの花や季節行事の飾りを展示して季節感や生活感を取り入れて心地良く過ごして頂けるように工夫している。</p>	<p>リビングは大きな窓から広々とした景色が見られ明るい。温度・湿度の管理や加湿器が置かれ、家庭的でゆったりとしたさわやかな空間である。対面キッチンで利用者の動きが見える。ソファがたくさん置かれ、くつろげるスペースである。季節の花や手芸品が飾られ、居心地良く過ごせる環境となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テーブル席、ソファ、居室などで、それぞれお好きな所で過ごせるよう配慮を行っている。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所前に活用されていた家具や道具を使用して頂き、利用者様が安心して過ごせるように環境整備に努めている。</p>	<p>居室は床の間があったり、それぞれ雰囲気の異なる居室となっている。ベットやエアコン・クローゼットが備え付けで、防災カーテンやリネン類はリースである。布団や毛布・写真・手芸品が持ち込まれ、個々の馴染みの物を飾り、個々に応じた快適な居室になるよう家族と職員が工夫している。</p>	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>入所前、入所後の生活パターンの周知、掲示物等の活用、職員による見守りや声かけをすることにより、安心して生活を送ることができるように支援している。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない